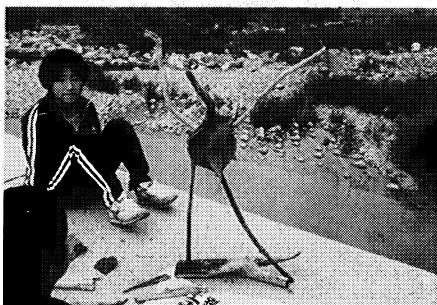


めにできるだけ多くの流木を集めます。

次に、その場で、流木を使つた造形遊びを行なう。この活動は、流木と十分にふれ合うことをとおして、自分の作つてみたい木の生き物を発想するための重要な活動である。生き物の体の一部に見える流木をまず見つけ、それに合つた流木を選ぶと発想しやすい。



川原での造形遊び

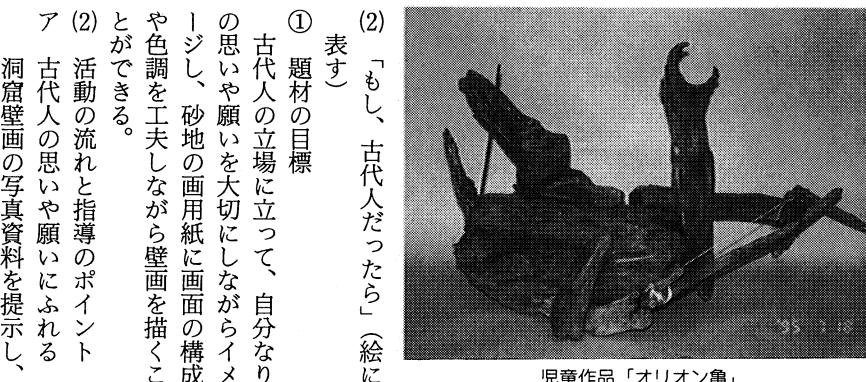
ウ アイデアスケッチを描く  
流木を教室に持ち帰り、アイデアスケッチを描く。教師の提示した試作品や資料を参考に、さらに発想を広げながら、自分のイメージに合った木をもとに描く。流木以外に使いたい素材があればそれも自由に使う。また、使いたい道具や工具、飾りたい場所なども学

習カードに書き、構想を練る。(資料1)

題材名	あれ?木が生き物に見えてきた(立体で表す)	作りたい木の生き物	くちはらし長どり
学習のめあて	おもしろい形や色、木肌の倒木や流木をみつけ、その木を切ったり、つないだり、組み合わせたり、彫ったり、描いたりして、木の生き物を作ろう。	使いたい用具や工具	ドリル、木ちぎき、くぎ、かなづちホン
作品を置きたい場所	どうぞ人づじじ		
段階	学習の内容(時間)	自分のめあて	先生
感想発想構想	○木の形や色、木肌のおもしろさを味わいながら、たくさん倒木や流木を集める。(90分)	いいね!木をあらわす	いいさう
	○自分のイメージに合った木を選び、木の生き物のアイデアスケッチをする。(45分)	いいスケッチをする	いい
	○自分のイメージにあった木を切ったり、つないだり、組み合わせたり、彫ったり、描いたりして、木の生き物を作る。(150分)	いいかんぬいのかっこいいのをつく	いい
		いいのをつく	いい

オ 作品を鑑賞し合う  
作品を自分的好きな場所に置き、自他によさを見つけ、お互いに賞賛し合う。

カ 切ったり、つないだり、組み合わせたり、彫ったり、描いたりして木の生き物を表現する。



児童作品「オリオン亀」

ウ 砂を集め、砂地の画用紙を作る  
まず、教師の未完成の試作品を提示し、墨で下絵を描くこと、砂地の色を生かして表現することを確認して活動に入る。アイデアスケッチをもとにした表現活動を中心とする。  
(1) 題材の目標  
古代人の立場に立って、自分なりの思いや願いを大切にしながらイメージし、砂地の画用紙に画面の構成や色調を工夫しながら壁画を描くことができる。  
(2) 「もし、古代人だったら」(絵に表す)  
古代人の思いや願いにふれる洞窟壁画の写真資料を提示し、

古代人がなぜ絵を描き始めたか話をし合う。社会科で学んだ古代人の生活の様子などを想起することで、古代人は自分の思いや願いを素直に表現していたことに気づく。時代背景にとらわれずに、古代人の立場に立つて自分だったらどんな思いや願いをもつか話し合う。そして、自分の思いや願いをイメージしてアイデアスケッチを描く。

ウ 砂を集め、砂地の画用紙を作る  
まず、校舎の周りを歩つて様々なか種類の土や砂、粘土を集め。次に、ボール紙に木工用ボンドを塗り、自分のイメージに合つた土や砂、粘土をつけていく。できたら乾かし、さらに表面に薄めた木工用ボンドを塗つて乾かしておく。

エ 自分の思いや願いを表現する  
アイデアスケッチをもとに、自分の思いや願いを砂地の画用紙に表現する。

ウ 砂地を集め、砂地の画用紙を作る  
まず、教師の未完成の試作品を提示し、墨で下絵を描くこと、砂地の色を生かして表現することを確認して活動に入る。アイデアスケッチをもとにした表現活動を中心とする。  
となるが描きながら発想したことでも大いに認め、自由に描いていく。  
砂地はでこぼこしているので、